平成25年文楽11月公演 配役表（大阪国立文楽劇場）

通し狂言　伊賀越道中双六

11月2日（土）～24日（日）　※13日（水）は休演。

第一部　午前10時30開演（午後3時55分終演予定）

段		太夫・三味線
鶴が岡の段		亘大夫、小住大夫、咲寿大夫、靖大夫、希大夫、清允、燕二郎、錦吾、清公、寛太郎、龍爾
和田行家屋敷の段	口	咲寿大夫（前）、小住大夫（後）、清公
	奥	松香大夫、清友
円覚寺の段	中	靖大夫、清丈
	奥	文字久大夫、藤蔵
唐木政右衛門屋敷の段	口	希大夫、龍爾
	中	睦大夫、清志郎
	切	咲大夫、燕三
誉田家大広間の段		咲甫大夫、喜一朗
沼津里の段		津駒大夫、寛治
	ツレ	寛太郎
平作内の段		呂勢大夫、清治
千本松原の段	切	住大夫、錦糸
	胡弓	清公

役	人形
和田志津馬	清十郎
佐々木丹右衛門	玉志
本庄屋定七	玉勢（前）、紋秀（後）
沢井股五郎	玉輝
奴実内	紋吉
傾城瀬川	一輔
母柴垣	勘彌
お谷	和生
和田行家	亀次
沢井城五郎	簑二郎
近藤野守之助	玉翔
眤近侍	玉誉
眤近侍	簑次
眤近侍	勘次郎
呉服屋十兵衛	和生
母鳴見	文司
池添孫八	幸助
石留武助	玉佳
腰元およし	紋臣
腰元おみち	簑紫郎
唐木政右衛門	玉女
宇佐美五右衛門	玉也
乳母おくら	文昇
娘おのち	紋吉（前）、玉翔（後）
誉田大内記	勘壽
小姓	玉彦
桜田林左衛門	文司
親平作	勘十郎
荷持安兵衛	玉誉（前）、簑次（後）
娘お米	簑助
番人	大ぜい
腰元	大ぜい
家来	大ぜい
奴	大ぜい
門番	大ぜい
近習	大ぜい
諸士	大ぜい

第二部　午後4時30開演（午後8時50分終演予定）

段		太夫・三味線
藤川新関の段　引抜き 寿柱立万歳	助平	三輪大夫
	志津馬	始大夫
	お袖	咲甫大夫
	ツレ	咲寿大夫、亘大夫、喜一朗、清丈、龍爾、錦吾、清允、燕二郎
竹藪の段		靖大夫、寛太郎
岡崎の段	中	芳穂大夫、清馗
	次	呂勢大夫、宗助
	切	嶋大夫、富助
	後	千歳大夫、團七
伏見北国屋の段		英大夫、清介
伊賀上野敵討の段	政右衛門	南都大夫
	志津馬	芳穂大夫
	林左衛門	津國大夫
	股五郎	文字栄大夫
	付人	小住大夫
		團吾

役	人形
娘お袖	文雀
和田志津馬	清十郎
奴助平	紋壽
太夫	勘市
才三	一輔
沢井股五郎	玉輝
蛇の目の眼八	清五郎
桜田林左衛門	文司
唐木政右衛門	玉女
幸兵衛女房	簑二郎
山田幸兵衛	勘十郎
捕手小頭	文哉
お谷	和生
倅巳之助	和馬（前）、簑之助（後）
夜廻り	簑一郎
傾城瀬川	一輔
池添孫八	幸助
飛脚	勘介（前）、玉路（後）
池添孫六	紋秀（前）、玉勢（後）
呉服屋十兵衛	和生
石留武助	玉佳
家来	大ぜい
駕籠舁	大ぜい
捕手	大ぜい
歩き	大ぜい
眤近侍	大ぜい
付人	大ぜい

＊ダブルキャストの前半は十一月二日（土）～十二日（火）、後半は十一月十四日（木）～二十四日（日）